



2020年1月9日

各 位

会社名 株式会社 松屋
 代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀
 (コード番号 8237 東証第一部)
 問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
 課長 関 泰程
 (TEL. 代表 03-3567-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月11日に公表いたしました2020年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年2月期通期業績予想数値の修正 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	94,000	2,100	2,000	1,500	28.32
今回発表予想(B)	91,000	1,000	1,000	800	15.10
増減額 (B-A)	△3,000	△1,100	△1,000	△700	—
増減率 (%)	△3.2	△52.4	△50.0	△46.7	—
(ご参考) 前期通期実績 (2019年2月期)	92,530	1,842	1,826	1,375	25.96

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	1,900	1,400	26.40
今回発表予想(B)	83,000	1,000	900	16.97
増減額 (B-A)	△2,000	△900	△500	—
増減率 (%)	△2.4	△47.4	△35.7	—
(ご参考) 前期通期実績 (2019年2月期)	83,811	1,967	1,542	29.09

(3) 修正の理由

本日開示の2020年2月期第3四半期（累計）の実績につきましては、元安の進行等による免税売上高の減少や度重なる自然災害の影響、さらに婦人衣料品の不振による利益率の低下等により、主力の百貨店業の業績が計画を下回る水準で推移いたしました。また、飲食業についても、婚礼組数の減少等により苦戦するなど、計画を下回って推移いたしました。

このため、第3四半期（累計）の実績ならびに足元の業績動向を踏まえ、2020年2月期の通期業績予想を見直した結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を下回る見通しとなりましたので、業期予想を修正いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上